



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

急性期医療の成果を引き継ぐ

倉敷中央病院 救命救急センター来院

8月7日に倉敷中央病院救急科の医師、看護師、リハビリ、医療ソーシャルワーカーの7名の皆様が来られました。救急科を経て当院回復期リハビリテーション病棟に来られた患者さんたちの回復度合いを確かめるためです。

されることもありま。救急科はファーストタッチといって患者さんの生命の危機的状態を直ちに診断し集中治療を行うからです。多くは多発外傷なので元の生活に戻るためにはリハビリが必要です。

当日は田村暢一朗先生から集中治療は社会復帰に導くま



来院の主旨説明と紹介患者さんたちの情報交換

確かめるためです。当院には脳外科や整形外科から患者さんが来られますが救急科から依頼



倉中からの患者さんを診察する田村医師たち



倉敷中央病院救急科の皆様 (8/7)

でが使命というご説明をいただき、当院からは退院された患者さんの報告と今入院中の患者さんの紹介をしました。

救急科は病気や外傷を多数抱えた患者さんを横断的に診る専門家集団です。その中で、多くの病気や障害から課題を整理し方針をたて、それをチームで成果に繋げるリハビリ科と同じです。「急性期病院と住まいとの架け橋」という私達の方針を確認できた一日でした。

コープリハビリテーション病院
医療福祉相談・連携室
室長 田辺 紀子

「歯科夏期ゼミ」 歯科学生さんたち当院見学

8月31日倉敷医療生協歯科学群で歯科学校に通う学生さん向けに『Summer デンタルゼミナール2017』を企画しました。参加された学生さんは、コープリハビリテーション病院・老健あかねの見学や1階の歯科診療室で実際の診療に立ち会ったり、院内往診にも同行されました。

どの空間も明るく広々としていて、そして何よりスタッフの方々が患者様のそばについて対話をしている様子が印象に残りました。コープリハビリテーション病院や老健あかねがどのような場所か、何をしているのか分かって良かったと感想が寄せられました。

水島歯科診療所
医療事務 遠藤 瞳



患者さんの治療の見学 (8/31)

地域と交流できた 予防事業

小ざくら地域子育てセンター wakuwak講座



合田慎太郎 地域子育てセンターから依頼がある

り腰痛予防教室に講師として参加しました。日頃子供の面倒や家事など腰に負担のかかる姿勢になる事が多いお母様方には、腰痛予防のストレッチ、高齢の方には、腰痛体操



4世代(!)の中で腰痛体操 (8/10)

を行いました。現在、高齢者の介護が必要となる原因として、転倒・骨折は増加傾向にあります。今回のような腰痛予防教室を通じて、若年者から高齢者の方々に転倒・骨折のリスクを伝え、運動の継続を促していくことは、これからの超高齢化の時代に対して必要なことだと思います。参加された方からは「楽しかった、楽になった、勉強になった」などの意見を頂きました。今後もこのようなご依頼にお応えしていきたいと思っております。

コープリハビリテーション病院
理学療法士 合田慎太郎

転倒骨折予防教室



樋口 愛子 倉敷市水島高齢者支援センター主

催で、東川町の転倒骨折予防教室に参加しました。20名ほどの方が参加されました。年齢層は70代〜90代で女性の方が大半でした。親子で来られている方もおられました。

100歳体操に加え、握力、30秒立ち上がりテスト、片脚立位テストを行いました。毎回参加されている方も多くおられ、健康への関心が高いことを感じました。

老健あかね
理学療法士 樋口 愛子



100歳体操 (8/2)

入院や入所に際して、部屋代はいただいません。

未来は変わる、言葉のもつ力

倉敷教育センター 社会貢献体験実習

老健あかねに教員生活十年目の研修で来られた八百教諭からお手紙をいただきました。拝啓 残暑の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、この度は教員生活十年目の研修におきまして、お忙しい所お時間を割いてご指導くださり、誠にありがとうございます。二日間の研修の中でたくさんの方から言葉の持つ力について考えることができました。皆様の行動や言葉の中に、入所者に対する尊敬の気持ちや優しさ、また未来に向けて



機能訓練室で利用者さんと談笑(筆者左)(8/10)

の思いが込められていることがわかりました。入所者の方とお話すると、「この方はとてもよくしてくださるんですよ。」と口々に言われ、どの方も穏やかな優しい顔をさしているのは、皆様の魔法のような声かけによるものであると感じました。これは教育の場でも同じで、教員が子どもたちを一人の人間として尊重し、

どれだけの思いをもって言葉かけられるかで、子どもたちの未来は変わってくると思えました。また、この度の研修では、生きていることについて深く考えることができませんでした。自分の仕事にどれだけの誇りと価値を見いだして生きるか、人間として人間らしく生きるということ、また自分の人生を最後まで生きるということ、どの生き方にも命の輝きを感じられ美しいと感じました。

皆様におかれましては命を預かる仕事の重みや多忙さゆえに、お体を崩されませんかようにくれぐれもご自愛ください。末筆ながら皆様のご健康とご活躍をお祈りして、お礼のあいさつとさせていただきます。

倉敷市立豊洲小学校 教諭 八百 裕美 敬具

シリーズ「専門職の誇り」



山本 鈴子

患者様の生活に一番近い専門職

私は、倉敷医療生活協同組合に入職して19年目になる介護福祉士です。現在は回復期リハビリテーション病棟に勤務しています。介護職は患者様の生活に一番近い専門職として、生活全般に関わらせていただいています。たとえば、病棟では「生活延長企画」と称して毎週金曜日に買い物、散髪、外食、散歩、料理などを行っています。認知症の高齢者は、ホスピタリズムの予防になります。



「生活延長企画」で外食の様子

この企画をして笑顔や感謝、本音をほろっと聞けることなど本当に介護職で良かったと思います。

また、リハビリ以外の時間はベッドで寝てしまうことを予防するために「日中デイ」を始めました。回復期リハビリテーション病棟は他職種との連携、コミュニケーションがとても大事です。それぞれの職種が専門性を活かして患者様の在宅復帰を目指しています。このような取り組みによって患者様が満足して退院していただけるように患者様の思いや希望を汲み取れるケアを続けていきたいと思えます。

コープリハビリテーション病院 回復期リハビリテーション病棟 介護福祉士 副主任 山本 鈴子

原水爆禁止世界大会

かりました。

コープリハビリテーション病院 理学療法士 清信 聡志



世界大会の様子 (8/6)

世界大会では、参加してみて、日本の方だけでなく海外の方々も多く、世界大会といふだけあって想像をはるかに上回る規模で驚き



当院からの参加者 (8/6) (左から平林、杉原、清信)

ました。また、各国の代表の方のお話を聞くことができ、会場が一体となる場面もありました。今回、世界大会に参加したことで、改めて原爆の被害について深く考えさせられました。これから学んだことを次の世代に伝えられるよう、幅広く勉強していきたいと思えます。

コープリハビリテーション病院 調理師 杉原 瑠香

新入職員紹介



老健あかね 介護福祉士 松元 洋行



老健あかね 介護士 新名 邦江



老健あかね 介護士 山崎 千鶴



老健あかね 介護支援専門員 廣本 典子



老健あかね 通所リハビリ 介護士 船橋 愉美



コープリハビリテーション病院 薬剤科 事務 小林 麻衣



○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212 (代表)
受付時間 8:30~17:00
(土日祝・年末年始を除く)
〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ
http://coopreha.jp/
メールアドレス
info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人

診療表		コープリハビリテーション病院 [086-444-3212]		老健あかね [086-446-6541]	
	内科	歯科	短時間 通所 リハビリ	訪問 リハビリ	通所 リハビリ
診療時間	午前 9:00~ 12:30	午後 9:00~ 16:50	9:00~ 16:50	9:00~ 16:00	9:00~ 16:00
月			○	○	○
火	○	○	○	○	○
水	○	○	○	○	○
木	○	○	○	○	○
金	○	○	○	○	○
土					○

医療福祉相談・連携室		
相談時間	平日	9:00~12:00 13:30~16:30
	土曜日	9:00~12:00
	日・祭日	休み